

平成 18 年度県民モニター第 3 回アンケート調査（テーマ：芸術文化センター及び陶芸美術館の活用について）自由意見への対応状況等について

モニターの皆さんに自由記入いただいた内容に対し、県の対応状況や考え方を示しています。

Q より多くの方が「芸術文化センター」に行ってみたいと思うためには、どうすればよいか(前問の選択肢以外で自由記入) (470件記載)			
番号	意見等の概要	件数	対応状況や考え方
1	センターや公演内容の広報・PRを強化する。	196	既存施策・事業で対応 記者発表をはじめ、鉄道車両・駅等へのポスター掲出、在阪マスコミ媒体の活用や情報誌の発行、ホームページ運営など、様々な方法により広報・PRを展開しています。 また、幅広く会員（登録無料）を募り（現在約6万人）毎月1回、会報誌（公演情報）を送付、ファンの発掘に努めており、今後も積極的な広報活動を推進します。
2	低料金化など料金設定を見直す。	81	既存施策・事業で対応 ワンコイン（500円）コンサート、プロムナードコンサート（2,000円）を実施するなど、低料金化に努めています。
3	幅広い年齢層に受け入れられるよう、様々なジャンルの公演を行う。	34	既存施策・事業で対応 クラシック・オペラ・バレエから演劇・落語・ミュージカルなど、様々なジャンルの公演を行っているところです。
4	気軽に見られ、身近に感じられるような公演を行う。	31	既存施策・事業で対応 人気・実力を兼ね備えた演奏家による入場料2,000円程度のプロムナードコンサート、新進気鋭の音楽家による入場料500円のワンコインコンサート、芸術文化センター管弦楽団によるファミリーコンサート、ポップスコンサートなどを行い、良質で親しみやすい多彩なメニューを展開しています。
5	施設（周辺）の設備や運営方法を検討する。	18	既存施策・事業で対応 周辺の設備については、西宮球場跡地他の利用も含め、県・西宮市で検討しています。 施設の運営については、安全・安心な施設運営をはじめ、皆様のご意見を伺いながら検討していきたいと考えています。
6	質や格式が高く、普段あまり見られないような公演を行う。	16	既存施策・事業で対応 メトロポリタン・オペラやウィーンフィルハーモニー管弦楽団などの世界一流のオペラやオーケストラを招聘してきましたが、今後も引き続き国内外の質の高い様々な舞台芸術の招聘・提供に努めます。

7	子どもや若い世代、子ども連れの人をターゲットにした催しや公演を行う。	16	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>夏休みなど子どもの参加が期待できる時期を中心に、芸術文化センター管弦楽団のファミリーコンサートをはじめ、「こどもの日スペシャル」など家族で楽しめる公演を行っています。</p> <p>また、お腹の赤ちゃんに心地よい音楽をプレゼントするマタニティーコンサートなども実施しています。</p>
8	公演以外に多彩なイベントを実施する。	16	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>地元商店街、芸術文化センター等が中心となって、西北活性化協議会を設立し、大学生、周辺自治会が参加し、様々なイベントを実施しています。</p>
9	チケット予約方法を改善する。	8	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>先行予約日における受付公演数の分散とともに、受付電話回線の増設（20台 35台）、オペレータの追加（40人 50人体制）と充実したチケット予約受付体制をとり、インターネットでも同時受付をしています。</p>
10	出張公演等、地方で公演を実施する。	6	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>芸術文化センター管弦楽団は、県内の市町はもとより、東京をはじめ県外においても数多く演奏会を実施（H18：年20回）しています。</p>
11	夜間公演など公演の日時を検討する。	5	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>より多くの方にお越しいただけるよう、公演時間は午前、午後、夜間と多様に設定しています。</p>
12	駅から直通バスを運行するなど、交通アクセスを検討する。	5	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>阪急西宮北口駅から徒歩2分の便利な立地です。また、JR西宮駅から阪急西宮北口駅までバスが運行されています。</p>
13	若者向けや高齢者向けなど、特定の世代を対象とした公演を実施する。	4	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>特定の世代に限定した公演は実施していませんが、様々な年齢層のニーズに応えられる幅広いジャンルの演目を用意しています。</p>

Q 「わくわくオーケストラ」事業についての意見（前問の選択肢以外で自由記入） （38件記載）			
番号	意見等の概要	件数	対応状況や考え方
1	中学1年生に限らず、小学生や中学2年生以上でも実施したらよい。	14	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>兵庫県では、子どもたちの発達段階に応じて社会性や豊かな人間性を培っていくために、体験を通して、子どもたちが自ら学び、考え、体得する教育に取り組んできました。</p> <p>小学5年生の「自然学校」による自然体験、中学2年生での「トライやる・ウィーク」による社会体験、高等学校での就業体験や地域貢献活動の事業を推進してきたところです。また、平成19年度から小学校3年生において「環境体験事業」を実施します。このような中、中学1年生において本格的な芸術体験を行い、芸術文化への興味関心を高めることにより、発達段階に応じた体系的な体験活動の一層の充実を図ることができると考えます。</p>
2	経験することはよいことである。	12	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>日頃から芸術文化に親しむ機会の少ない中学生が、本格的な音楽ホールと交響楽団の演奏を「体験」することで、音楽を愛好する心情が育つとともに、豊かな情操や感性を育むことにつながると考えます。</p>
3	出張公演を行うなど、各地域でも実施してほしい。	4	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>全国でも屈指の音楽ホールとして、また、阪神・淡路大震災の文化復興のシンボルとしてオープンした「県立芸術文化センター」のエントランスからホールに入るまでの導入部、オーケストラの登場も含めた音楽鑑賞の仕方について体験するとともに、通常見ることのできない大型反響板の動きを実際に見たり、効果音や照明などステージを支えている機能について学習したりすることで充実した体験になるよう工夫しており、芸術文化センターでの実施が最適であると考えます。</p>
4	学生だけでなく、地域住民にも同様の活動を展開したらよい。	3	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>生徒に加え、保護者にも鑑賞の機会を提供しています。</p>
5	オーケストラだけではなく、日本音楽など他の音楽も聞かせるべきである。	2	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>文化庁の「学校への芸術家等派遣事業」を活用し、希望する学校へは、伝統音楽としての和楽器等の指導者や伝統芸能保持者を派遣しています。</p>

6	現在の社会環境を考えると、芸術文化センターがする必要性はない。	2	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>全国でも屈指の音楽ホールとして、また、阪神・淡路大震災の文化復興のシンボルとしてオープンした「県立芸術文化センター」のエントランスからホールに入るまでの導入部、オーケストラの登場も含めた音楽鑑賞の仕方について体験するとともに、通常見ることのできない大型反響板の動きを実際に見たり、効果音や照明などステージを支えている機能について学習したりすることで充実した体験になるよう工夫しています。ここでの体験は、心の時代といわれる中、豊かな感性を育むにあたって、極めて重要であると考えています。</p>
7	参加は自由にすべきである。	1	<p>その他</p> <p>兵庫県では、子どもたちの発達段階に応じて社会性や豊かな人間性を培っていくために、体験を通して、子どもたちが自ら学び、考え、体得する教育に取り組んできました。</p> <p>小学5年生の「自然学校」による自然体験、中学2年生での「トライやる・ウィーク」による社会体験、高等学校での就業体験や地域貢献活動の事業を推進してきたところです。また、今年度から小学校3年生において「環境体験事業」を実施します。このような中、中学1年生において本格的な芸術を体験し、芸術文化への興味関心を高めることにより、発達段階に応じた体系的な体験活動の一層の充実を図ることができると考えています。</p>

Q その他、芸術文化センターをよりよいものにするためのご意見（前問の選択肢以外で自由記入）（212件記載）

番号	意見等の概要	件数	対応状況や考え方
1	多種多様な公演の実施など、公演内容を充実させる。	53	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>オペラ・オーケストラ・バレエ公演から、演劇・ミュージカル・古典芸能や世界の音楽、室内楽・ジャズなど幅広いジャンルを対象に数多く実施しています。</p>

2	公演内容の広報など、広報・PRを充実させる。	4 6	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>記者発表をはじめ鉄道車両・駅等へのポスター掲出、在阪マスコミ媒体の活用や情報誌の発行、ホームページ運営など、様々な方法により広報・PRを展開しています。</p> <p>また、幅広く会員（登録無料）を募り（現在約6万人）毎月1回、会報誌（公演情報）を送付、ファンの発掘に努めており、今後も積極的な広報活動を推進します。</p>
3	気軽に入場できる料金での開催など、料金設定を検討する。	4 2	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>ワンコイン（500円）コンサート、プロムナードコンサート（2,000円）を実施するなど、低料金化に努めています。</p>
4	硬い雰囲気にならないよう、センターの運営を工夫する。	2 6	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>職員をはじめ、レセプションистなどに対し、親切・丁寧な対応を心がけるよう徹底するとともに、ハード面でも誰もが利用できるレストラン、共通ロビー、情報コーナーを配置するなど、くつろいでいただける雰囲気づくりに努めています。</p>
5	親しんでもらえるよう、施設を広く県民に貸し出す。	1 6	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>大・中・小ホールをはじめ、リハーサル室、スタジオも広く県民の方に利用いただいています。</p>
6	喫茶やバーなど、公演前後に楽しめるような設備を充実させる。	9	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>各ホールにはビュッフェを開設し、開場時から飲物（コーヒー、ビールなど）を提供しています。また、レストランには軽食ができるカフェテリアを併設しています。</p>
7	わくわくオーケストラ事業の対象を拡大するなど、文化振興を図る。	8	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>「わくわくオーケストラ教室」は、平成18年度から取り組んでいる事業で、中学1年在学中に必ず体験する事業として今後も継続的に実施することとしています。当事業で対象を拡大することはできかねますが、保護者の参加を可能としており、また、幅広い年齢層を対象に、普及・教育的な事業として、主催事業の内容をわかりやすく、理解を深めながら楽しめるように、公開リハーサルやレクチャー・トーク等の事業にも取り組んでいます。</p>
8	アンケートやモニター調査などにより県民ニーズを把握し、反映する。	7	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>公演にお越しいただいたお客様やホール等施設を利用された方を対象としたアンケート調査を実施することにより、よりよい事業企画や施設運営の参考にしています。</p>

9	地方公演（出張公演）を実施する。	3	既存施策・事業で対応 芸術文化センター管弦楽団では県内の市町等からの依頼による演奏会を随時実施しているところです。
10	チケット予約の受付体制を改善する。	2	既存施策・事業で対応 先行予約日における受付公演数の分散とともに、受付電話回線の増設（20台 35台）、オペレータの追加（40人 50人体制）と充実したチケット予約受付体制をとり、インターネットでも同時受付をしています。

Q より多くの方が「陶芸美術館」に行ってみたいと思うためにはどうすればよいか（前問の選択肢以外で自由記入） （257件記載）			
番号	意見等の概要	件数	対応状況や考え方
1	陶芸及び施設の広報・PRを充実させる。	60	既存及び新規施策・事業で対応 今後とも、魅力ある展覧会や普及事業・イベントを展開し、陶芸ファンを獲得するとともに、近隣の立杭陶の郷・こんだ薬師温泉等との共同事業、また、主要観光会社との誘客連携を図ります。また、今年4月からJR大阪駅に看板を設置し、広報・PRに努めています。
2	交通アクセスや駐車場などの利便性を向上させる。	38	既存施策・事業で対応 主要交差点への案内看板設置や、敷地内外の駐車場整備を図るとともに、それらを記載した地域マップによる広報・PRをしてきました。 今後とも、主要交差点・最寄駅・公共交通機関等の交通アクセスや駐車場及び神戸・大阪中心部から1時間半ほどで来館できることの周知に努めてまいります。

3	話題性があり興味をひくような、様々なイベントを開催する。	3 6	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>「展示作品解説のあと窯元工房を訪ねるガイドツアー」「学芸員と一緒に各地の美術館等を巡る陶芸文化講座」「著名作家による公開制作・野外展示」「登り窯陶芸ワークショップ」「子育て世代陶芸ワークショップ」「丹波焼伝統工芸士による技術専門講座」等々の普及事業や、「冬のイルミネーション」「展望デッキや展示棟ロビー、レストランでのコンサート」「やきものネタの落語会」「ポスター原画展」「こんだ若葉ウォーキング」「丹波焼によるいけばなアート展」「スタンプラリー」など多様なイベントを開催してきました。今後とも、陶芸を身近に感じることが出来る企画に努めます。</p>
4	近隣施設や丹波の特産品などを活用する。	2 2	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>当館及び近隣の「陶の郷」「こんだ薬師温泉」を中心とする「今田ネットワーク委員会」を結成し、共同して「スタンプラリー」「観光ツアー」など地域への誘客を仕掛けていくとともに、丹波茶・黒豆・猪肉・地鶏、丹波布などの特産品や、それらを活かした季節メニューの販売・PRを行い、丹波焼とともに地域の魅力を発信しているところです。</p>
5	陶芸教室などの体験型イベントを企画・実施する。	2 0	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>近隣の「陶の郷」「窯元群」における一日陶芸教室等との機能分担や事業連携を図りながら、当館ならではの「窯元や著名作家を講師とする」「中長期の」「技術専門的な」「子育て世代や陶芸経験者などに特化した、また、学校教育と連携した」体験型の企画を実施しています。今後とも、より多くの方に参加いただける機会の創出、周知を図ります。</p>
6	利用料金を低く設定したり、無料招待券の発行を検討する。	1 6	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>展覧会の料金については、開催にかかる経費や来館者見込とのバランスを考慮しながら、できる限り低廉な料金設定になるよう努めています。また、今後ともホームページ閲覧による割引券提供、芸術文化協会等の会員制度と提携した割引制度等を推進します。</p>

7	有名陶芸家の作品や、興味を惹くような作品を展示するなど展示内容を充実させる。	1 5	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>開館以来、20世紀を代表する陶芸家バード・リーチの特別展や丹波焼を中心としたテーマ展など新しい様々な切り口で「陶芸の世界」を紹介してきました。</p> <p>今後とも、当館ならではの「メッセージ」を発信するとともに、来館者アンケート等による貴重な意見を参考にし、魅力ある展覧会を開催します。</p>
8	陶芸美術館をコースに組み込んだ観光ツアーなどを企画する。	1 4	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>当館主催の陶芸文化講座において、学芸員と一緒に、県内外の陶芸関係施設などを巡り、ご当地メニューを楽しむツアーを実施しました。</p> <p>また、旅行会社に働きかけを行い、当館をコースに組み込んだ観光ツアーが企画されています。今後とも、より多くの方に訪れていただけるよう、陶芸を身近に感じることができ企画に努めてまいります。</p>
9	陶器を安く購入できる即売会などを実施する。	1 4	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>丹波立杭陶磁器協同組合の運営する近隣の「陶の郷」では、約60の窯元の高級品や特売品を展示即売しています。また、毎年10月に開催される「丹波焼陶器まつり」では、大幅値引きで販売しており、19年度のGWには、新たに「第一回やきものの里 春ものがたり」を開催し、各窯元が工夫を凝らした展示即売を実施しました。</p> <p>当館のミュージアムショップでも、県下のやきものを展示即売していますが、オリジナルのやきものの展示即売について、同組合と協議しているところです。</p>
1 0	多くの人に興味を持ってもらえるよう陶芸美術館を運営する。	1 4	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>当館では、「展覧会」「陶芸ワークショップ等の普及事業」「学校との連携事業」「各種イベント」を通して、見るだけではなく、体験し、身近に感じることができる新鮮な魅力を発信しています。現在、当館の開設を契機に構成された、地域の活性化を図る「陶芸文化プロデューサー」による情報誌「やきものの里ミュゼレーター」を発行しており、陶芸美術館とともに、やきものの里の魅力を発信していきます。</p>

1 1	学校の課外授業で利用するなど、陶芸美術館の活用策を検討する。	8	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>当館では、学校や教育機関との連携を推進しており、18年度は、ワークシートを使った展示鑑賞・陶芸体験・作品展など、校外学習のカリキュラムに合わせて、県内約20校に活用いただきました。今後とも、教育ノウハウを蓄積し、次代を担う子どもたちが、ものづくりの原点である「陶芸文化」に、より効果的に親しむことができるプログラムを開発します。</p>
-----	--------------------------------	---	---

Q その他、「陶芸美術館」をよりよいものにするための意見（前問の選択肢以外で自由記入） （143件記載）			
番号	意見等の概要	件数	対応状況や考え方
1	家族で体験できる催しの開催など、イベントを企画する。	5 3	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>子育てワークショップでは、四季に応じて、親子で作陶した作品に山野草を生けたり、ひなまつりのやきものを作るなど、子育て世代の交流や、親子のコミュニケーションを活性化する普及事業を推進しています。</p>
2	インターネットやテレビを活用するなど、施設の広報・PRを充実させる。	3 2	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>当館のホームページでは、「丹波立杭の里山だより」「丹波焼再発見推進委員会」など、情報の掲載に加えて、読物コーナーを設置し、更新の頻度を高くしています。</p> <p>また、NHK教育テレビ「新日曜美術館」、サンテレビ「週刊ひょうご夢情報」をはじめ、マスコミ各社の番組や報道に取り上げられるよう、プレスリリース（記者発表）に努めています。</p>
3	親しみやすい雰囲気づくりなど、陶芸美術館の運営方法を検討する。	2 8	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>来館者からのアンケートを毎日回収するなど、迅速なクレーム対応を行うとともに、来館者と直接対応している受付・レストラン・保安担当者等との定期連絡会議を開催し、館を挙げて、顧客満足度の向上を推進しています。</p> <p>また、丹波立杭陶磁器協同組合、ジャーナリスト、他府県陶芸美術館長、学識者などを構成員とする運営委員会を開催し、運営内容の点検を行っています。</p>

4	最寄り駅からのバスの確保など、交通アクセスを改善する。	1 2	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>開館に合わせ、路線バスが増便されましたが、来館者の約8割以上が自家用車・団体バス利用者です。</p> <p>今後とも、公共交通機関の利用方法を広報・PRするとともに、路線バスの維持・増便を運行会社に働きかけます。</p>
5	陶芸の魅力を伝えられるよう幅広い分野の展示を行う。	1 1	<p>既存施策・事業で対応</p> <p>開館以来、新しい様々な切り口で「陶芸の世界」を紹介してきました。</p> <p>今後とも、来館者アンケート等の貴重な意見を参考にし、国内外の「古陶磁器」から「現代陶芸」まで、優れた陶芸作品の魅力を、当館ならではの「メッセージ」とともに、発信します。</p>
6	講座を低料金で受けられるようにするなど、料金体系を見直す。	5	<p>今後の検討課題</p> <p>開催にかかる経費と募集定員とのバランスを考慮しながら、今後とも、できる限り低廉な料金設定に努めます。</p>